

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：救急部 岩崎 任

【研究責任者】

聖路加国際病院 救急部 岩崎 任

インフルエンザ迅速検査の早期実施による救急外来滞在時間短縮効果の検討についての研究

1.研究の対象

2013年12月～2019年3月までのインフルエンザ流行シーズン（12月～3月）に聖路加国際病院の救急外来を受診され、インフルエンザ抗原迅速検査を施行された15才以上の患者さん

2.研究の目的・方法

救急外来が混雑することで、救急外来を受診される患者さんへの診療や治療が遅れる可能性があります。そのため、救急外来の混雑を緩和する努力をしています。その1つとして、インフルエンザが流行する季節に、インフルエンザの検査を早期に行うことで、救急外来の混雑を緩和できる可能性を検討しています。患者さんの診療録から、感冒症状の有無、インフルエンザ抗原迅速検査結果などを抽出し、どのような感冒症状があるか、救急外来滞在時間等の検討をします。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、インフルエンザ迅速検査結果、救急外来滞在時間 等